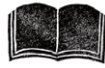


人と本の出逢い——人と人の出逢い。

章



【 i h e n 】

No.41

2014.11

編

新館長就任のご挨拶

図書館サービスの紹介

貴重書・コレクション紹介コーナー

教員から学生への推薦図書

図書館学生ボランティア紹介

Supporter's selection!!

News & Topics

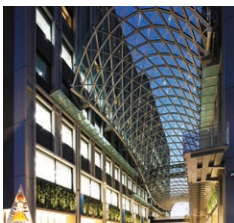
図書館利用データ



【特集】就職活動に役立つ図書館の有効活用

就活に「図書館のすすめ」

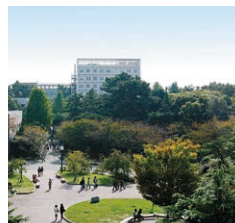
Aichi University Library



名古屋校舎



車道校舎



豊橋校舎



新館長就任のご挨拶

図書館長・豊橋図書館長の
あいさつ

わたしと本とブックレビュー



図書館長・豊橋図書館長
荒川 清秀

わたしが愛大に就職して一番うれしかったのは、本が好きだけ買えるようになったことである。もっとも、家は家人との共同空間だから、あまりたくさんは置けない。自然、本は研究室にたまっていく。研究室はこれまで2度引っ越しし、引っ越しするたびに大量の本を処分した。5号館から研究館に引っ越したときは、本棚30本分はあった本を20本分にまで減らした。それでも本は日々増え続ける。

本が増え続ける原因は、専門書はもちろん、それ以外の分野の本を大量に買い込むからである。それはある時期に、紀田順一郎、谷沢永一、鹿島茂、丸谷オーといった読書人たちの「本の本」に出会い、読む本の範囲が広がったからである。新聞は毎日と中日の2紙を購読しているから、日曜の書評欄はいつも楽しみだ。他に「週刊読書人」という書評紙も取っているから、読みたい本はどんどん増える。本はアマゾンでも買うが、なるべく現物を見てから買いたいのので、毎週1度は街の精文館へ出かける。ここの本揃えは名古屋の大書店に引けをとらない。

図書館の新刊書コーナーも、新刊書に触れる貴重な場だ。「あ、こんな本が出てる」と手に取ることも少なくない。収書スタッフに感謝だ。しかし、ここでの本は開架図

書を含め、長く手元においておきたいときは自分で買う。開架図書は基本的に学生のための本である。教員が専有してはいけない。

こうした専門外の本はだいたい毎日夜寝る前に布団の中で読むのだが、いかんせん、わたしは寝つきがいいので数頁読むとすぐ眠くなる。それでもがんばって月に何冊かは読了する。面白い本が新たに見つければ、前の本は横において、その新しい本を読み出すこともある。時には何冊か平行して読むこともある。

10年ほど前にブックログというコーナーをホームページ上につくってもらい、読んだ本はなるべくここに書評を書くようにしている。すでに350冊を越えた。人にもよるのだろうが、わたし自身について言えば、本というものは読む尻から忘れていく。だから、最初は個人的な備忘録代わりに始めたのだが、そのうち、著者から書評の礼状メールが来たりするようになった。亡くなった著者の家族から心温まる礼状をいただいたこともある。だから、書くときもおそろかには書けない。時間がかかる。しかし、書くことでその本に対する理解も深まる。

名古屋図書館長の
あいさつ

求められる図書館とは—自身の経験から—



名古屋図書館長
栗原 裕

思い返せば、図書館および館内職員の方々には随分お世話になり、多くのことを学び、恵まれた環境を享受させていただいた。大学教員になってすぐ、研究員として活動したメディア教育開発センター(放送大学)。現在でもお世話になっている国立情報学研究所、科学技術振興機構、そして他大学も然りである。図書館の有用性、可能性については、10年程度前から、ICTの一段の進歩を発端として再認識するようになる。

高等教育関係の学会、フォーラム、図書館関係のイベントにはできるだけ参加してきた。発起人となった「大学教育改革フォーラムin東海」では、本学の豊橋図書館事務課係長(当時)にご登壇いただいたこともある。その後、ICTの進歩、質向上は、国内外で電子書籍に限らず、教材や授業のアーカイブ提供などに繋がっていった。「ラーニング・コモンズ」や「アクティブ・ラーニング」が「流行」した際には、海外も含め、見学させていただいた。以前から注目していたflipped授業も、図書館を利用する方法を含め普及しつつある。むしろ、これらの見識や経験を利活用してきた。研究面では、図書・学術雑誌の利用に始まるが、国内外のいくつかの学術雑誌の編集にも携わっている。海外に向けてオープン・アクセスの雑誌も立ち上げた。最近では、日進月歩の技術・技法、取り組みに追いつくのに大変な状況である。また、学内ではじまり幹事役の一人を務める「土曜会(読書会)」では、それぞれの「知」の個性を基にした関連な議論に参加させていただいており、これは贅沢な空間である。多くの知見や

真摯な取り組みに触れるのは、まことに幸せだ。

大学図書館の役割に関して、さほど見解の相違はなかろう。教育・研究活動の効果的・効率的な展開、社会に対する教育・研究活動の発信と連携などである。経済学部のごさしま移転前に、学部長として、研究活動の活性化、産学官連携の実現に加え、「主体的・能動的な学びを引き出すための、学生参加型授業、協調・協働学習、課題解決・探求型の学び、体験学習」「現実社会の課題と専門的知識との関連性を意識し、体験と知識を総合化する方法の修得」を方針として掲げたが、その考えは微塵も変化していない。これらの実現のためには、教育・研究活動の深化に加えて、図書館での専門能力を有する人的資源の活用・支援、図書館間の組織的連携、図書館を含めたコンテンツ分野でのICTのさらなる活用(言うまでもなく、電子媒体のみならず紙媒体の資料などを維持、提供することも必要である)、学内関連組織の連携が求められる。そして、「思索の場」「知的営為がなされる場」が大学、図書館にはほしい。さらに名古屋校舎では、「居場所」としての配慮が求められている。空間としての最大の利用者は学生であり、そのために最大限の配慮をするのは当然である。

幸い、スタッフの方々にも恵まれている。学生サポーターも存在する。「知を愛する」教職員、大きな可能性を秘めた学生、そして地域・社会の皆さんと、よりよいものをともに築き上げていきたい。大学が本来の機能・役割を果たすために。



図書館サービスの紹介

皆さんは、どのような時に図書館を利用していますか？

本を借りる、レポート作成のための資料を探すなど、様々な目的で利用されているかと思います。あまり知られていませんが、図書館では資料の貸出しだけでなく、様々なサービスを行っています。今回は、図書館サービスのいくつかをご紹介します。



資料探しのお手伝い

図書館のカウンターに「レファレンス」と表示されたプレートがあることをご存じですか？

レファレンスとは「必要とする文献や参考図書についての問い合わせに応じたり、検索に協力したりする」サービスのことで、図書館では、このレファレンスを行っています。

「調査の対象やキーワードは分かっているけど、適当な資料が見つからない」といった時には、レファレンスカウンターにご相談ください。



(名古屋図書館 レファレンスカウンター) (豊橋図書館 レファレンスカウンター)



他の図書館の資料を借りる、コピーを取り寄せる

「検索用パソコンで資料を探してみたが、ヒットしなかった」といった経験はないでしょうか？愛知大学図書館に目当ての資料がないからといって、諦める必要はありません。そんな時は「相互貸借制度」を利用してください。この制度を使えば、他大学図書館から本を借りたり、必要なページのコピーを取り寄せることができます。図書館スタッフが目的の資料を持っている図書館を調べて、取り寄せ方法をご説明します。気軽にご相談ください。



グループ学習

名古屋図書館のディスカッションルーム、豊橋図書館のグループ学習室やラーニングcommonsはグループ学習に最適な場所です。これらの場所にはホワイトボードと可動式の机が設置されています。人数に合わせて机を動かし、学習スタイルに合わせた環境を作ることができます。パソコンを借りて備付けのプロジェクターを利用すれば、プレゼンテーションの練習も行えます。



企画展示コーナーの開設

企画展示コーナーでは、その時々旬な資料を展示しています。最近では、キャリア支援課とのコラボ企画である「Learning+支援コーナー」や、「夏」をテーマにしたオススメ資料などを展示しました。



(名古屋図書館 Learning+支援コーナー) (豊橋図書館 企画展示コーナー)



データベース

「新聞記事を探したい」「判例を検索したい」といった時に役立つのが「データベース」です。

データベースであればキーワードや日付をもとに検索を行い、すぐに目的の記事を閲覧することができます。利用できるデータベースの一覧は、図書館ホームページの「データベース」をご覧ください。

(URL:<http://library.aichi-u.ac.jp/db.php>)

定期的にデータベースの活用講習会も開催しています。ぜひご参加ください。講習会の内容については「知ってよかったデータベース講習会」(6ページ)の記事を参考にしてください。

今回ご紹介した内容は、全て学生皆さんのためのサービスです。ぜひ、これらのサービスを活用し、学習に役立ててください。



【特集】就職活動に役立つ図書館の有効活用 就活に「図書館のすすめ」

図書館は学生の皆さんの学習や研究をサポートしていますが、
就職活動に役立つ情報もたくさん持っています。
情報収集とその活用は、就職活動においてとても大切な要素です。
ここで紹介する情報などを活用して、就職活動を実のあるものにしましょう。

① 働くとは？

まずは“働く”について考えよう

就職活動を進めるにあたっては、自分にとって“働く”とはどういうことかを考える必要があります。キャリア支援課が開催するガイダンスなどの様々な就活イベントに参加したり、インターンシップへの参加、家族や先輩からのお話などを通して、自分にとっての“働く”ことの意味をよく考えて、就職活動に臨んでください。

あわせて、「自己分析」という作業を進めておく必要があります。就職活動における自己分析とは、自分のこれまでの人生や考え方を振り返り整理することによって、長所と短所を理解し、さらに業界や企業選びの基準に繋がる自分なりの価値観を明らかにすることです。自己分析をしっかり行っておくことで、志望業界や企業を絞りやすくなりますし、何よりもエントリーシートや面接でアピールするセールスポイントを強力なものにすることができます。

“働く”ことについて考えたり、自己分析のために役に立つ本はたくさんあります。この2点は、手をつけるのに早すぎることはありません。大学生活の早いうちから、本などを通して意識を高め、来るべき就活に備えましょう！

例えばこんな本がオススメです。



学生のための
キャリアデザイン入門

渡辺峻、伊藤健市編著
名図開架 377.9:W46
豊図開架 377.9:W46



ある就活
紗希と翔と探す充実した
仕事にたどり着く方法

神保紀秀、
採用学プロジェクト編著
名図開架 377.9:J52
豊図開架 377.9:J52



気持ちよく働ける
22歳からの仕事術

金児昭著
名図文庫 159:Ka53
豊図文庫 159:Ka53

② 知る

業界・企業選びが重要！

何といっても就活の重要なポイントになるのは、志望業界・企業選びです。自分の人生の岐路になると言っても過言ではありません。進路希望が明確に決まっていればいいのですが、そうではない場合の方が多くでしょう。とにかく、早い段階から様々な業界や企業の情報を仕入れ、自己分析の結果、明らかになった価値観などと照らし合わせて、徐々に志望業界・企業を絞り込んでいく必要があります。

絞り込む事ができれば、次に必要なのは、その業界・企業に関する研究です。志望業界・企業に関する情報をできるだけ深く収集し、面接対策をたてておく必要があります。場合によっては、関連業界や異業界、ライバル業界に関する知識も、選考において役立つこともあります。すなわち、情報の収集と活用がもっとも必要となるのが、この段階なのです。

情報を収集するには、いろいろな方法があります。企業の説明会や就職展などに参加したり、OB訪問を積極的に行うことも重要です。しかし日ごろから、インターネットや本、雑誌、新聞などを通して情報収集に努めることが、必ず自分の力となり、選考において役に立ってきます。

図書館には、皆さんの業界・企業研究に役立つ資料がたくさんあります。大いに利用してください。

図書館で読むことができる、業界・企業研究に役立つ資料の一部を紹介します。

新聞

朝日新聞、読売新聞、毎日新聞、中日新聞、
日本経済新聞、日経流通新聞、
中部経済新聞etc.

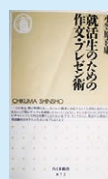
雑誌

週刊エコノミスト、週刊東洋経済、
週刊ダイヤモンド、月刊金融ジャーナル、
ジュリスト



名古屋図書館 新聞コーナー

そのほかにも、エントリーシートの作成や面接対策に役立つ本、就活全般に関して書かれた本もたくさんあります。就活を乗り切るテクニックが身に付いたり、気持ちよくなったりのみならず、図書館を訪れて手にとってみましょう。



就活生のための作文・
プレゼン術

小笠原喜康著
名図開架 816.5:O22
豊図文庫 816.5:O22



「採用したい」と言わせる技術：
人事のプロが教える面接力

梅森浩一著
名図開架 377.9:U71



いま、働くということ

橋本俊昭著
豊図開架 366.04:Ta13



3

集める

情報収集を効率的に

新聞や雑誌記事から、自分に必要な情報だけを効率的に収集する方法があります。データベースの活用です。

本学図書館では、教育・研究に役立てるために多くのデータベースを購入または契約しており、学内ネットワークや図書館設置PCから利用することができますが、その中に就活に大いに役立つものがいくつかあります。

例えば「日経BP記事検索サービス」を利用すれば、日経BP社が発行している「日経ビジネス」や「日経パソコン」など 30誌以上の雑誌記事からキーワード検索することができ、記事の本文を見ることができます。

「東洋経済デジタルコンテンツ・ライブラリー」では、「週刊東洋経済」「会社四季報」「就職四季報」などを利用することができ、さらにスマートフォン用の画面も準備されています。

新聞記事についても、全国紙各紙のデータベースを利用してキーワード検索ができますので、自分の興味のある時事問題について掘り下げるだけでなく、業界・企業研究にも役立てることが出来ます。

こんなに便利なツールを使わない手はありません。上手に活用して、情報収集・分析を行ってください!

図書館で契約・購入しているデータベース(一部)

雑誌記事	データベース
日経BP記事検索サービス	「日経ビジネス」「日経トプリーダー」「日経コンピュータ」「日経WOMAN」など
東洋経済デジタルコンテンツ・ライブラリー	「会社四季報」「就職四季報」「週刊東洋経済」「金融ビジネス」「CSR企業総覧」など
新聞	データベース
間蔵II ヨミダス歴史館 毎索 日経テレコン21 中日新聞・東京新聞記事検索サービス	朝日新聞 読売新聞 毎日新聞 日本経済新聞
その他	データベース
Japan Knowledge	「週刊エコノミスト」「現代用語の基礎知識」「会社四季報」など

OPACを使いこなそう!

愛知大学図書館の蔵書検索システムOPACを使いこなして、情報収集に役立てましょう。例えば、詳細検索の「フリーワード」で「就活」と入力して検索すると、様々な就活本がヒットします。「就職 活動」「業界名称」などでも検索してみてください。

フリーワード欄に「就活」で検索



キャリアをプラス

公務員や教師等を目指す場合、難関な公的試験を突破する必要があります。また、弁護士や税理士、行政書士などのいわゆる「士業」を目指す場合も同様です。

さらには、就活を有利にするため、もしくは就職後のキャリアアップも見据えて、語学関係の資格試験(TOEIC、TOEFL等)や情報技術に関する資格試験などに挑戦する方もいるでしょう。

そのような皆さんのキャリア形成にも、図書館を活用してください。大学図書館はその性質上、資格試験対策の最新の参考書や問題集が多く揃っているとは言い難いのですが、語学の学習資料は豊富に揃っていますし、自治体や教育業界、情報技術に関わる資料はたくさん所蔵しています。

試験対策は、問題に直接取り組むことももちろん大切です。しかし、その背景や実情を把握したうえで問題に取り組むことにより、さらに深い理解に繋がり、合格への道も開き、そして何より実務に役立てることが出来ます。そういった幅広い汎用的な知識は、図書館で所蔵する専門的な資料から得ることができるのです。

図書館では、静かな閲覧席なども利用して、集中して資格試験勉強に取り組むことができます。授業の空き時間も利用しやすい環境ですので、積極的に図書館を利用してください。

多様なキャリア形成に役立つ資料



受験ジャーナル

名図逐刊 Z32:83



公務員革命

彼らの「やる気」が
地域社会を変える
太田肇著
豊図文庫 318.3:081
名図開架 318.3:081
ほか



学生と教師のための現代教職論とアカデミックフリーダム

臼井嘉一著
名図開架 374.3:U95

教職課程コーナーのご紹介

名古屋図書館の教職課程コーナーには、実際に高校で使用されている文科省検定済教科書(地歴、公民、英語)、学習指導要領解説が配架され、他にも教職関連図書・雑誌の紹介等が展示されています。教職志望者同士でのディスカッションの素材集め、学習指導要領と教科書の内容がどう関連しているかの確認、教育実習の準備学習等、様々な用途で使える図書・雑誌が揃えられていますので、教職志望者は積極的に活用してください。





参加した学生に好評!

知ってよかった データベース講習会

膨大な情報の中から必要なデータを効率的に収集するためには、的確にデータベースを使いこなすことがポイントになります。データベースの存在を「知っている」だけでは活用することはできません。図書館では、いくつかのデータベースにスポットをあてて、どのようなコンテンツが収録されているかをはじめ、機能面や使い方などを紹介するためのデータベース講習会を開催しています。「参加したもん勝ち!」です。皆さん積極的に参加しましょう!!



開催実績及び予定

2013年度

- 5月 LLL判例秘書ハイブリッド (法学部生支援)
- Japan Knowledge (レポート作成支援)
- 9月 D1-Law法情報総合データベース (法学部生支援)
- 11月 東洋経済デジタルコンテンツ・ライブラリー (就活支援①)
- 2月 東洋経済デジタルコンテンツ・ライブラリー (就活支援②)

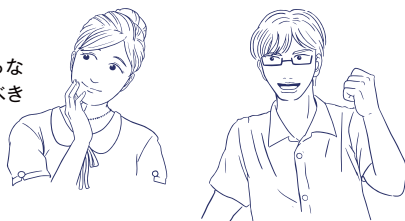
2014年度

- 5月 Japan Knowledge (レポート作成支援)
- 6月 LEX/DBインターネット (法学部生支援)
- 7月 日経NEEDS Financial QUEST (教員向け/研究支援)
- 9月 ProQuest & OCLC WorldCat (教員向け/研究支援)
- 12月 聞蔵II/毎索/ヨミダス歴史館 (新聞系/学習・就活支援)
- 2月(予定) 東洋経済デジタルコンテンツ・ライブラリー (就活支援)
- 3月(予定) 日経テレコン21 (就活支援)

参加者アンケート(抜粋)

LEX/DBインターネット

★こういうものがあると知らなかったで、もっと開催すべきだと思います。(法1年)



日経テレコン21

- ★PCが苦手なので最初は使うのが難しそうだと思いましたが、何度かやっていると慣れると思います。(法3年)
- ★就職活動が非常に楽になるツールがあることを初めて知った。自宅でもひたすら企業検索をすることが無くなり、自分が知りたいことのみを得られるので助かりました。(法3年)
- ★わからないことだらけだったので講習に参加できて良かったです。(経営3年)

東洋経済デジタルコンテンツ・ライブラリー

- ★とてもよかった。今日たまたま学校にいて参加を決めたけど、もっとPRしてみんな参加した方がいいと思った。(経営3年)
- ★大満足です!(国際コミュニケーション3年)
- ★自分が疑問に思っていたことを、こんなにも簡単に探せるサイトがあることを知れてよかった。(文3年)
- ★データベースを今まで利用したことがなかったので、とても勉強になりました。今後は積極的に活用していこうと思います。(現代中国3年)
- ★すごく役に立つので、もっと早く開催してほしいです。今日学んだことは、この後の就活に大いに役立ちます!(国際コミュニケーション3年)



データベースを
利用するには

愛知大学図書館ホームページへアクセス

<http://library.aichi-u.ac.jp/>

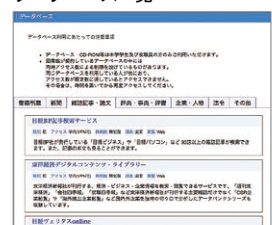
図書館ホームページトップ



検索・情報サイト

- データベース **ここをクリック**
- 電子ブック
- リンク

データベース一覧





Collection

貴重書・コレクション紹介

Collection no.3



名古屋図書館

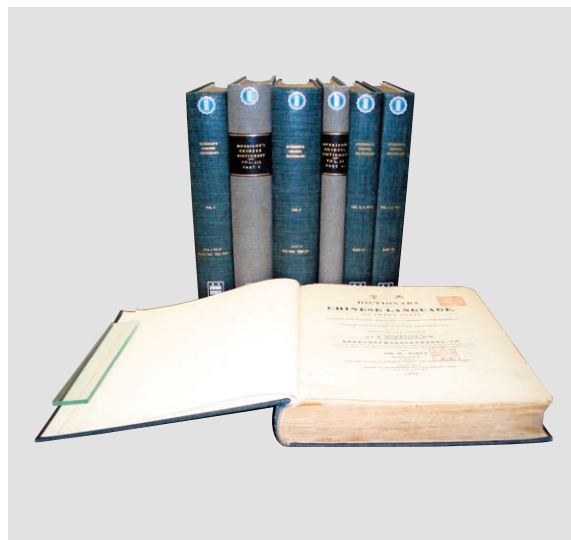
近代の漢訳聖書コレクション

『新遣詔書』 名図事務193.5:X99(全8巻)

『神天聖書』 名図事務193:Sh69(全21巻)等

近世から近代の中国では、数多の欧米人宣教師によって聖書の漢訳が試みられてきました。19世紀初頭にはプロテスタントによる漢訳活動が始まり、その最初期には、いずれもイギリス人の宣教師であるロバート・モリソンとジョシュア・マーシュマンが活躍しました。それ以前の18世紀初頭には、カトリックの代表的な漢訳であるフランス人宣教師バセの所謂『四史攷編』があり、そのバセの稿本をモリソンが大英図書館で筆写し、これを携帯して中国に渡って手掛けたのが、『神天聖書』と総称される一連の漢訳聖書です。また、モリソンと同時期には、中国から遠くはなれたインドでもマーシュマンによる漢訳が行われました。本学図書館では、モリソンの初期の漢訳である『新遣詔書』(1815)と完成版の『神天聖書』(1823)の二つ、そしてマーシュマンの『聖經』(1815-1822)を所蔵していますが、いずれも元々は英国聖書協会が所蔵していたのが、縁あって愛知大学の図書館にやって来たものです。特にモリソンの漢訳聖書はのちの幾つかの後継訳を経て明治期の日本語訳へとつながる系譜の源流としても重要な資料であると言えます。このほかにも、ブリッジマンとカルバートソンによる文言訳やロシア正教会訳など非常に重要なものも所蔵しています。漢訳聖書は、欧米宣教師たちが様々な時代と地点(各官話や方言)で学んだ中国語を反映する資料であると同時に、西洋の文化や概念からの異文化翻訳の資料としての可能性をもっています。本コレクションも研究者をはじめ、多くのかたに利用されることを願っています。

Collection no.4



豊橋図書館

A Dictionary of the Chinese Language

豊図書館 823:Mo78

1804年、ロンドン伝道会がロバート・モリソンを中国に派遣する際命じたことは、中国語の習得と『聖書』翻訳でした。当時、中国では外国人が中国語を学ぶことも、また中国人が外国人に中国語を教えることも禁じていました。そのような過酷な環境の中でモリソンはまずマカオに達し、そこを拠点に聖書翻訳、中国語辞典の編纂、中国語文法書の執筆を開始しました。そのうちの中国語辞典の正式の名称は、*A Dictionary of the Chinese Language*で、全3部からなります。第1部は当時最大規模の辞典『康熙字典』(1716)をその部首別に翻訳、増補したもので、1815年に第1部 第1巻が完成、第2巻は22年、第3巻は23年にずれこみました。『康熙字典』は今でこそピンイン順の索引もありますが、これを外国人が引くのは至難の技でした。第2部は『五車韻府』と呼ばれ、第1部をアルファベット順に並べ替えたもので、1819年に第1巻、20年に第2巻が完成しています。この部分はその後何度も単独で出ています。第3部は英華(本学蔵は2分冊に製本)で、この部分は第2部に続いて出ています。出版の順序は西洋人がこの辞書を利用する際の必要度に応じたものでありました。モリソンの辞書は後の英華・華英辞典のモデルになったばかりでなく、幕末日本にも舶載されました。モリソンの辞書は漢字の語釈に留まらず、西洋人にとっての中国文化百科辞典でもありました。たとえば、「学」は『康熙字典』では数行しかありませんが、本書では40頁にもわたり、中国における私塾、読書の心得、官吏登用制度である「科挙」を事細かに記述しています。本書は中国の図書館では稀覯に属しますが、日本には本学を含め完全なものが国立国会図書館、静岡県立中央図書館、東洋文庫、東京学芸大学、早稲田大学、京都外国語大学、同志社大学等に約10セット存在します。近年、日本と中国でリプリントが出て利用が便利になりました。

参考：朱鳳『モリソンの「華英・英華字典」と東西文化交流』(車図開架 823:Sh99)、
宮田和子『英華辞典の総合的研究』(豊図書館 801.3:Mi84)



「オススメ」
**教員から
 学生への
 推薦図書**
 Recommend
 books

学生みなさんに読んでほしい一冊を、大学の蔵書の中から紹介していただきました。学生時代に会った本や、息抜きに読める本などさまざま。ぜひ図書館で探してみてくださいはいかがでしょうか。

01

嘘の効用



(写真は富山房百科文庫版の上巻)

いずたろう
 末広 巖太郎 (著)
 (改造社)1922

(外)外部書庫1 320.4:Su16
 名図開架 #320.8:47.4
 (日本評論社版)

法院開架 320.4:Su16:1-2
 (富山房百科文庫版)ほか

末広 巖太郎(1881-1951)は日本の法学界の立役者的存在で、平易な言葉で書かれた彼の著作集は珠玉の法学入門書だ。中でも『嘘の効用』は古典的名著。一見硬直している法律の世界であっても、裁判所は人のためあえて“嘘”をつく必要があると説く。大岡裁きはその典型。無論ここで“嘘”とは反倫理的な虚偽のことではなく、法解釈における技術的レトリックのこと。末広は云う。「人間は公平を好む。法治主義はこの要求から生まれた制度です。法治主義とは法律という物差しを作っておく主義です。ところが元来物差しは固定的なるを以て本質とするものです。…もしも、法律の物差しが少しも伸縮しない絶対的固定的なものであったとすれば、(逆に人はそのような)杓子定規を憎むものです。」ゆえに「法則性を以て伸縮する物差し」が大切なのだ、と。法学以外の全ての人が読んで、きっと「目から鱗」に違いない。

名古屋校舎

長峯 信彦
 法学部

02

知的生産の技術



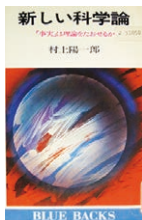
梅棹 忠夫 (著)
 (岩波新書)1969

名図文庫 080:1952:b722
 豊図書庫 #081.6:2:415 ほか

梅棹忠夫『知的生産の技術』(岩波新書F93)は、1969年に初版が発行されて以来、たちまちベストセラーになった個人情報処理の入門書で、梅棹氏が考案した京大式カードによるデータベースの構築を中心とした、効率的な情報処理のテクニックが体系的に紹介されている。本書が提唱する技法は、IT化された最新の情報技術と比べれば、古色蒼然としたローテクのアナログ技術であるが、人間の知的活動の基本は今でもやはり自分の頭脳を用いたアナログ情報処理である。2010年には本書の第84刷が増刷されており、息の長い名著である。筆者は学部学生時代に本書に出あって感銘を受けたが、今日の学生にも一度は手にしてもらいたい書物である。

03

新しい科学論



村上 陽一郎 (著)
 (講談社)1979

豊図書庫 #401:116
 (外)名図書庫 401:Mu43

人を説得するときにはいろんな説得方法がある。占いを信じる人もいれば、情に訴えられると納得する人もいる。はたまた科学的に納得するということもある。では、そもそも科学的な説得とはどういうことだろうか。数式で語るか？数字で語るか？データで語るか？いやいや、科学はそんなに簡単でも単純でもなく、非常に面白く味わい深いものであるということを知ってほしい。データを積み上げるだけでは科学的な説得とはいえないとか、はたまた地動説のガリレオは科学者とはいえないとか、科学に興味のある人はもちろん、是非、私がそうだったように超文系の学生にも読んで欲しい一冊である。

04

ゴシック建築とスコラ学



アーウィン・パノフスキー (著)
 前川 道郎訳
 (平凡社)1987

豊図開架 523.045:P21
 名図開架 523.045:P21 (文庫版)

ゴシック建築といえば、例えばパリのノートルダム寺院。スコラ学といえば、トマス・アクィナス。これらの単語は、なかなか肌にしみこんでこないものです。それが「ゴシック建築とスコラ学」とつながれば尚更のこと。しかしこの本の主眼は、個別の事象ではなく、それを作り上げた考え方に着目するところにあります。一つの物事を、部分に分け、分析し、それを再度組み上げる。建築であれば部材を組み上げて一つの建物とする。文献であれば、語句をつぶさに検証していった書物全体の意味を描く。その考え方が極めて似ているというのです。このような分析は、ジャンルに閉じた思考ではできないことでした。パノフスキーの力量、読んで楽しめます。

名古屋校舎

森 久男
 経済学部



名古屋校舎

太田 幸治
 経営学部



名古屋校舎

木島 史雄
 現代中国学部

05



世界の夢の図書館

(エクスナレッジ)2014

名図開架 010.2:Se22
豊図開架 010.2:Se22

本書は伝統から最新まで、「世界最高峰」の図書館37館を写真付きで紹介したものです。「過去から現在、そして未来へ、人間の知をつなぐ場所」である図書館の数々の写真を見ていると、何かしら得るところがあるはず。それから、紹介されている多くの図書館には館内ツアーがあり、一般の見学者にも門戸が開かれていますから、もし機会があれば、実際に訪れて知的伝統の空間に身を置いてみたいものです。そういえば、昨年の歌舞伎座新開場の折、当代尾上菊五郎が「ハコは出来てもまだ匂いもない。我々がこれから使いこんでいくことで、劇場のカラーができてくんだ。」というようなことを語っていました。たしかに、建物も最初は「ハコ」でしかなく、それを活かすも殺すも使う次第。世界の伝統ある図書館に比べれば、愛大の図書館はまだまだこれからの「新品」。だからこそ、私たちの使い方ひとつで、愛大ならではの「人間の知をつなぐ場所」を創っていきけるのではないかと、そんなことも考えさせてくれる一冊です。

名古屋校舎

塩山 正純

国際コミュニケーション学部



06



世界文学にみる 架空地名大事典

アルベルト マンゲル・ジャン・グアルービ(著)
高橋康也(監訳)
(講談社)1984

豊図参考 #903.3:11
名図参考 903.3:Ma43(完訳版)ほか

図書館には「読む本」のほかに、「引く本」があります。辞書、事典、書誌などです。

これらは、ググってもわからないことを系統的に調べることができます。このほかにも『架空人名辞典』(豊図参考 #903.3:14 (欧米編) 903.3:Ky4 (日本編) ほか) や『世界の妖精・妖怪事典』(豊図参考 388.033:R72) など、思いがけない事典があります。

「引く」には、電子版のほうが便利なことも多いのですが、紙の辞書には重要な利点があります。言葉を打ち込まなくて、ページをバラバラすることで読めることです。事典を読んでみてください。

そして、この事典に載っている土地へ行ってみたいと思ったら、旅行会社に行く必要はありません。図書館の書架に行ってみてください。

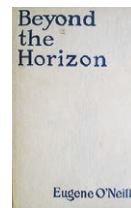
豊橋校舎

山本 昭

文学部



07



Beyond the Horizon

邦題：地平線の彼方

Eugene G. O'Neill (著)
(New York: Boni and Liveright)
1920

豊図書庫 E380.6:77

私は文学部英文科に入学した。小説を読むことが好きだったわけではない。ただ英語が深く学びたかった。私は遅読派で、トルストイの長編など読もうとも思わなかった。そんななか、授業でアメリカの作家ユージーン・オニールを読むことになった。その作品名は *Beyond the Horizon* である。これは彼の初期の短い劇作で、授業で簡単に読み切った。そして、私は戯曲を読む魅力に憑りつかれてしまった。戯曲は短く読みやすかった。さらに、戯曲は劇場で楽しむこともできる。大学生のあいだに、私はオニールの作品をほとんど読破した。英語でも4.5冊読んだ。近代劇を読み漁った。その後に来るのが不条理演劇だ。当時は学生運動が盛んだったところで、自分に揺れていた私にとって、この掴みどころのない演劇の世界は、自分そのものだった。

豊橋校舎

早川 勇

地域政策学部



08



若き日の 詩人たちの肖像

堀田 善衛(著)
(新潮社)1968

豊図書庫 #913.6:H2:1ii
豊図書庫 918.68:H96:7
(堀田善衛全集)

(写真は本扉)

昨年、福永武彦「死の島」を推薦しましたが、今回は福永の盟友・堀田善衛の、戦時下の青春を描いたこの本を推薦します。堀田は、アニメーション作家宮崎駿の尊敬する作家で、司馬遼太郎を交えた鼎談も本になっています。昨年のアニメ「風立ちぬ」で、宮崎が堀辰雄を引用したことに胸に落ちる気持ちがあったのも、脚本・絵コンテを担当した前作「コクリコ坂から」のヒロインの名前/あだ名と、父親の出身学校の設定に、海/merを結びつけた三好達治と、高等商船学校学生であった丸山薫という、詩誌「四季」の二詩人の濃厚な気配が感じられたからで、堀辰雄こそ三好・丸山とともに「四季」を主宰した、堀田・福永らにとって師匠格の人物でした(ちなみに丸山薫は本学教授でした)。本作には堀が「成宗の先生」として——福永も「日伊協会の詩人」として——登場。暗い時代を生き抜こうとする人々の交流が心を打ちます。

豊橋校舎

安 智史

短期大学部



09



おとなの進路教室。

山田スーニー(著)
(河出書房新社)2012

豊図開架 I59:Y19

「人はなぜ働かなければならないのですか。これが分からないから就活をするモチベーションがわかないです・・・」。これは、2年前、OBを招いてゼミの三年生向けに就活懇談会を実施したとき、あるゼミ生が当惑気味に発した質問です。「就職希望者」が集まる会合で、まさかこんな根源的な疑問が出てくるとは・・・とOBも私も苦笑しましたが、一方で、この疑問は重大で捨て置けないと感じた私が、その学生に読むように勧めたのがこの本です。この本は、哲学書でも就活指南本でもありませんが、自分の進路を切り拓こうとする人、それはこれから社会に出ようとしている学生だけでなく、自分らしく生きるために自分の立ち位置を転換したいともがいてる全ての年代の人に、考える視点と前に進む力を与えてくれる、心にリアルに響く本です。ちなみに、この本を読んだ当該学生は無事納得のいく就職ができました。この本の効果でしょうか。

車道校舎

久須本 かおり

法科大学院



10



文学部唯野教授

筒井 康隆(著)
(岩波書店)1990

名図開架 913.6:Ts93

筒井康隆(1934年9月24日生)は、小松左京、星新一と並んでSF御三家と称されてパロディやスラップスティックな笑いを得意とし、初期の作品はナンセンス、ブラックユーモアな代表作に「くたばれPTA」(1966)(名図開架 918.68:Ts93:3)がある。途中、純文学の分野に進出した時もあった。

『文学部唯野教授』は「大学」と「文学」という二つの制度＝権力に挑んだ主人公・唯野仁の大学生活をパロディ化し、大学の実態を筆者の勝手な想像で描いている。

作品の文芸批評が文学から社会学にも及び、大学の授業内容を揶揄しながら作品当時の大学に対する筆者の想いに興味が注がれる作品でもあり、是非一読されることをお勧めします。

車道校舎

林 隆一

会計大学院





人と本の出会い × 人と人の出会い

図書館学生ボランティア紹介

名古屋図書館サポーター トツポ

本・図書館好きによる、図書館をより親しみやすくするための、楽しいイベントの企画・展示などを学生の目線で行うサークルです。



イラスト：吉田 緑さん

名古屋図書館サポーターのマスコットキャラクター「トツポくん」です！

Profile

「図書館サポーター」を略して「トツポ」としたのがはじまりです。トツポくんはサークル営業委員長で、愛大図書館の利用促進がお仕事です！

ラッピング図書

本を直感で借りてみようという企画。何が入っているかは開けてからのお楽しみ。今後も面白い企画を定期的に行っていきます。



図書展示「新潮文庫の100冊」「百年文庫」

貸出冊数を増やすための企画として、今年度は2つの図書展示を行いました。目を引くカラフルな展示で大好評でした。



2014年度活動報告

サークル紹介「二胡部(知音)」 「国際協力団体SEED」

中国の伝統楽器「二胡」を奏する二胡部と、フェアトレードの推進活動を行う「SEED」にスポットをあて、部の魅力と関連図書を紹介するコーナーを設置しました。



読書マラソン

大学生協とのコラボ企画！大学4年間で100冊以上の読書を目指す企画を紹介しています。みなさんも本を読んでコメントを書いてみよう！



豊橋図書館サポーター・図書館好きの学生の会

本が大好きな学生が集まって活動中。みんな豊橋校舎の図書館が大好きです。本が好き、熱意がある方大歓迎、メンバー募集中です！



豊橋図書館サポーターのマスコットキャラクター「本蔵」です！

Profile

愛知大学の図書館に住んでる本蔵だよ！好きなものは本！嫌いなものは水！twitterアカウントは@aichihonzouだよ！図書館に関しての有益な情報を発信しているよ！気軽にフォロー待ってるよ！よろしくね！

舟橋 良音

文学部日本史専攻4年の舟橋良音です。お喋りと本が大好きです。新しい本に出会うドキドキ感が好きでよく図書館をウロウロしています。愛大図書館をもっと魅力ある図書館にするために活動していきたいです。



藤田 智美

はじめまして！文学部人文社会科学の藤田智美です。心理学を専攻しています。最近の本蔵くん(@aichihonzou)のフォロー一人数がなかなか伸びないことが悩みです。図書館をもっともっと使いやすしいものにしていきます！



下地 智恵

初めまして。文学部4年の下地智恵です。図書館情報学を専攻しています。趣味は散策と読書です。皆さんにとっての図書館が心地よい場所になるよう頑張っていきたいです。



竹村 友里

本、漫画、音楽、動物、旅行を好んでいる愛大文学部の竹村友里です！学生生活残りわずかなので、この会に貢献できることは数少ないかとは思いますが、何卒よろしく願います！所属サークルはアカベラサークル！いろんな本が読みたいナ！



佐藤 桃香

文学部3年生の佐藤です。本と鳥と音楽が好きです。少しずつではあるものの、会の知名度が上がってきていることが嬉しい今日この頃。図書館の魅力さをさらにお伝えできるようお願いしたいと思います。



秋山 菜野花

世界史専攻2年の秋山菜野花です。本と音楽が大好きな文学少女かつ歴史女子です。多趣味なおかげで好きな本のジャンルも真面目な歴史書から外国文学、推理小説、さらにはライトノベルまで多岐に渡っています。図書館は私の憩いの場！なのでもっと多くの方々にご利用いただけたらと思います。

わたしたちがあなたに
オススメの1冊をセレクト!

Supporter's selection!!

名古屋 池田藍香さんのイチオン



『分身』
東野圭吾 著 (集英社)1996
名図開架 913.6:H55
豊図開架 913.6:H55

全く同じ顔の二人の女性のお話です。その二人の女性が出てから、自分の生い立ちに違和感を感じ、謎がどんどん深まっていきます。そして彼女らはその謎を解きあかそうと決意します。なぜこの二人の女性が瓜二つで生まれてきたのかが見所です。

名古屋 入江貴大さんのイチオン



『タイム・ラッシュ』
『天命探偵 真田省吾』
神永学 著 (新潮社)2010
名図文庫 913.6:Ka37

天命探偵シリーズ第1作目の作品です。ミステリー要素+アクション要素といった作品で、非常にテンポ感が良くどんどん読み進めることができます。読みやすい作品なので、軽い空き時間にサクッと読んでみてはいかがですか。シリーズ続刊も図書館にありますので是非読んでみてください!!

名古屋 服部沙彩さんのイチオン



『図書館戦争』
有川浩 著 (メディアワークス)2006
名図開架 913.6:A71
豊図開架 913.6:A71

2007年から話題になった。小説だけでなく、漫画、映画とも幅広く知られた一冊です。架空の現代日本を舞台に、不当な検閲から本を守ろうとする図書館員たちの戦いと日常を描いたエンターテインメント小説。本好きな人はもちろん恋愛好きな人にもおすすめの一冊です!!

名古屋 吉田 緑さんのイチオン



『こんな話を聞いた』
阿刀田高 著 (新潮社)2007
名図文庫 913.6:A94

全18話の冒頭、「こんな話を聞いた」から始まる逸話を添えた短編集。多種多様な逸話がこれから始まる物語の内容を想像させてくれて楽しい。本編自体は、逸話とは異なり日常的なところが面白い。それでも、逸話も本編も示すところは同じ。つまり、人の本質はそうそう変わらないのだ。

名古屋 永谷瑛里香さんのイチオン



『変身』
カフカ 著 / 高橋義孝 訳 (新潮社)2011
名図文庫 943:Ka15

ある朝、気がかりな夢から目を覚ますと男は自分が一匹の巨大な虫になっていることに気づく。それにもかわらず普段とかわらぬ日々が無常にも過ぎていく。なぜこのような異常な事態が起こったのか…。読者により様々な解釈ができるこの作品は海外文学の最高傑作の一つと言われる。

名古屋 弓矢菜奈さんのイチオン



『暗いところで待ち合わせ』
乙一 著 (幻冬舎)2002
名図開架 913.6:O87

犯人として追われるアキヒロは、視力をなくし、独り静かに暮らすミチルの家に逃げ込んだ。ミチルは人の気配に怯えながらも身をを守るために知らない振りをする。そして二人の奇妙な同棲生活が始まる…。

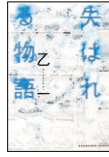
名古屋 小島友里亜さんのイチオン



『読書力』
齋藤孝 著 (岩波書店)2002
名図文庫 080:1952:d801
豊図文庫 019:Sa25
(外)車図開架 081:1957:801

読書についてのハウツー本かと思って読んでみました。まず「文庫本100冊+新書50冊=読書力がある」と定義づけるのは分かりやすいと思いました。読んでいてこの人は本当に本が好きなんだと思いました。いい緊張を持ちながら読書はありましたことなので、本に紹介されていた本を少しずつ読みたいです。読書人にオススメの一冊です。本を読む姿勢を考えさせられる本でした。

名古屋 西山小晴さんのイチオン



『失はれる物語』
乙一 著 (角川書店)2006
名図開架 913.6:O87

これぞ二ワールドの集大成! 事故で五感を失った私。唯一残されたのは触覚だけだった。ピアニストである妻は私の腕を鍵盤代わりに日々の想いを演奏することを思いつく。それは触覚だけ残された私の唯一の救いであった。しかしそんな家族のため、彼とはある決心をする。他短編6作収録。どの話も印象深く、気軽に読める一冊です。

名古屋 目黒識貴さんのイチオン



『神の守り人』
上橋菜穂子 著 (新潮社)2009
名図文庫 913.6:U36:1(上/来訪編)
913.6:U36:2(下/帰還編)

この本は、上橋菜穂子さんの守り人シリーズの一作で主人公バルザが絶対絶命の危機に立たされた兄妹を救おうとして陰謀に巻き込まれていくお話で、私が守り人シリーズで一番おすすめする本です。バルザの鮮やかな短槍さばきも見ものですが、様々な仮面の国の食べ物も魅力の一つです。

名古屋 中村直美さんのイチオン



『図書館に訊け!』
井上真琴 著 (ちくま新書)2004
名図開架 015: I57
豊図開架 015: I57
(外)車図開架 081:C44:486

元大学図書館員が図書館を使い倒すための方法や使うために必要となる図書館用語を大変わかりやすく解説した本です。2004年発行と少し古い本ではありますが、大学生の皆さん図書館にある広大な資料・情報へ案内してくれます。この本を読み、ぜひ図書館でいろいろ読んでみてください。

名古屋 久野高裕さんのイチオン



『柔道の神様』とよばれた男:
『空気投を生んだ三船久蔵十段』
嶋津義忠 著 (PHP研究所)2013
名図開架 789.2:Sh46

柔道一筋に生き、稽古に稽古を重ねて鍛錬に励んだ伝説的人物、三船久蔵氏の生涯が紹介されています。小柄な船氏が「柔よく剛を制す」ことを実践するために、自分の力を最も有効に使う手段をいかに研究していたかが伝わってきます。柔道修行の究極目的である「己を完成し、人を補益する」ことを常に意識して打ち込む姿勢には感銘を受けました。

名古屋 浜里敏大さんのイチオン



『新トヨタ式「改善」の教科書』
世界No.1に導いたものづくりの原点
若松義人 著 (東洋経済新報社)2014
名図開架 509.6:W21

リーマンショック、北米におけるトヨタパッシング、そして東日本大震災。数々の大きな危機を乗り越えて奇跡とも言える復活を遂げたトヨタ。その要因には「トヨタ式」の再徹底という原点回帰がありました。オレ流・オレ式を貫くのもいいですが、大切なことは普段から意識すること。その意識を組織全体で共有することです。

豊橋 舟橋良音さんのイチオン



『室町人の精神』
桜井英治 著 (講談社)2001
豊図開架 210.08:N71:12
名図開架 210.08:N71:12

「生活苦から家宝を売る」日本の貴族がここまで生活に困窮していた時代があった事をご存知ですか?日本のトップにいたはずの天皇や貴族たちが教科書にも載っていない室町時代、彼らがこの逆境をどのように生き延びたのかを垣間見る事が出来る一冊です。華やかな金閣寺を建立した足利義満の時代、ドラマのような人生を読んでみてください。

豊橋 藤田智美さんのイチオン



『手紙』
東野圭吾 著 (毎日新聞社)2003
車図開架 913.6:H55
名図開架 913.6:H55(文庫)

皆さんはニュースを見たとき、犯罪者の家族について考えたことはありますか?突然強盗殺人犯の弟となった直貴。どんな出来事が起きても、「強盗殺人犯の弟」というレッテルが彼の幸せを奪う。「普通の人間」になるため直貴は必死にがんばっていく。

豊橋 下地智恵さんのイチオン



『その日のまえに』
重松清 著 (文藝春秋)2005
豊図開架 913.6:Sh28
名図開架 913.6:Sh28(文庫)

自分や大切な人がこの世から居なくなってしまうとしたら貴方ならどうしますか?この本には同級生や家族といった周囲の人々との別れが描かれています。遺す人、遺される人、受け止め方は人によって様々です。その日、この本を開いてみて下さい。目の前に広がる世界がより愛おしいものになって見えるかもしれません。

豊橋 竹村友里亜さんのイチオン



『世にもおもしろい英語』
小泉牧夫 著 (IBCパブリッシング)2014
豊図開架 830.4:K638

「Cloud nine」、「Disneyland daddy」、「green with envy」あなたはこの意味、わかりますか?直訳すると「雲9」「ディズニーランドの夫」「嫉妬と緑」。ですが、答えは左から「最高に幸せ!」「別居している夫!」とでも嫉妬している。なぜこのような意味になるのか、わかりますか?それには深く、あっと驚くような理由があるのです。英語って面白い!と読んで、ついつい言ってしまう一冊。是非一読あれ!

豊橋 佐藤桃香さんのイチオン



『ソロモンの指環』
コンラート・ローレンツ 著 / 日高敏隆 訳 (早川書房)1975
豊図開架 481.78:L88
車図開架 481.78:L88 ほか

「刷り込み」という言葉だけでもご存知の方は多いではないでしょうか。「ソロモンの指環」には、この現象を発見した動物行動学者、コンラート・ローレンツによる様々な動物の生態が綴られています。生物に特別興味なくても楽しんで読める一方で、動物だけでなく人間の本性についても考えさせられる本です。

豊橋 小野秀之さんのイチオン



『世に棲む日々』
司馬遼太郎 著 (文藝春秋)1973
豊図開架 918.68:Sh15:27
名図開架 918.68:Sh15:27 ほか

吉田松陰、高杉晋作。長州の倒幕運動を牽引した師弟の生涯を鮮やかに描いた傑作です。「おもしろきこともなき世を、おもしろくすみませぬものは心なりけり」有名な高杉の辞世の句ですが、本書を読めば味わいが倍増。生きる意味についても考えさせられます。来年の大河ドラマより楽しめるはず。是非一読を。



知のミーティング

ドキュメンタリー映画「疎開した40万冊の図書」上映会を開催しました

2014年10月27日(月)に、愛知大学図書館主催で「疎開した40万冊の図書」上映会を名古屋・豊橋各キャンパスにて開催しました。この映画は、戦時中に40万冊もの貴重な図書を郊外に疎開させ戦火から守った事実を追ったドキュメンタリー映画です。上映会に先立って、金高謙二監督による講演会も行いました。



全国大学ビブリオバトル2014予選会を開催しました

2014年10月18日(土)と25日(土)に、名古屋・豊橋図書館にて全国大学ビブリオバトル2014の予選会を開催しました。ビブリオバトルとは、5分間で本を紹介し、どの本を一番読みたくなったかを参加者が投票して「チャンプ本」を決定する本の紹介コミュニケーションゲームです。今回は『おしまいのでて』瀬尾まいこ著(所蔵なし)と『青空の卵』坂木司著(所蔵なし)がチャンプ本に選ばれ、愛知大学代表として愛知・岐阜ブロック予選会に出場します。

【DATA】

■帯出冊数(2010年度~2014年度)

単位:冊

区分	学部等	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度(9月末現在)
学部生	法学部	10,052	9,592	10,532	9,631	6,801
	経済学部	5,348	4,448	6,516	7,750	3,376
	経営学部	12,627	10,023	10,232	9,906	5,313
	現代中国学部	7,548	5,695	5,825	5,944	2,608
	国際コミュニケーション学部	12,835	12,138	12,125	14,763	7,975
	文学部	21,504	21,571	20,575	20,420	9,506
	地域政策学部	—	817	2,030	2,662	2,107
	短大	4,181	3,275	1,619	1,888	1,212
	研究生(学部)	—	—	69	15	0
	科目等履修生	409	219	380	318	100
	協定留学生	—	—	—	274	102
大学院生	5,279	4,039	4,162	4,608	2,590	
専門職大学院	法科大学院(研究生含む)	4,752	3,647	2,279	1,281	642
	会計大学院(研究生含む)	1,866	1,364	1,483	1,328	437
その他(教職員、同窓生、研究生、オープンカレッジ生など)		32,721	25,283	18,932	16,458	8,404
合計		119,122	102,111	96,759	97,246	51,173

■名古屋図書館 来館者数

単位:名

区分	学部等	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度					2014年度			合計
					4月	5月	6月	7月	8月	9月			
学部生	法学部	327,588	317,505	307,101	93,172	9,569	9,699	10,919	19,283	1,733	6,059	57,262	
	経済学部				53,347	5,801	5,683	5,938	10,505	446	3,670	32,043	
	経営学部				70,618	7,706	7,914	8,632	13,199	1,441	5,352	44,244	
	現代中国学部				26,136	2,395	1,985	2,611	3,687	202	1,840	12,720	
	国際コミュニケーション学部				47,441	5,143	4,934	5,327	6,860	481	3,321	26,066	
	文学部				1,270	83	129	132	150	93	118	705	
	地域政策学部				515	75	54	39	65	45	55	333	
	短期大学部				74	26	20	19	30	1	3	99	
	学部研究生				0	0	0	0	0	1	0	1	
	科目等履修生				654	16	22	15	18	6	41	118	
	協定留学生				2,623	207	234	190	132	9	110	882	
大学院生	1,529	145	100	109	169	43	64	630					
専門職大学院	法科大学院(研究生含む)	232	17	22	33	19	2	8	101				
	会計大学院(研究生含む)	169	2	9	3	7	1	0	22				
その他(教職員、同窓生、研究生など)		25,510	1,772	1,783	1,720	1,776	3,429	2,423	12,903				
合計		323,290	32,957	32,588	35,687	55,900	7,933	23,064	188,129				

■豊橋図書館 来館者数

単位:名

区分	学部等	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度					2014年度			合計
					4月	5月	6月	7月	8月	9月			
学部生	法学部	350,181	257,207	129,040	188	20	24	14	25	7	18	108	
	経済学部				1,143	33	34	29	69	19	63	247	
	経営学部				209	5	8	14	45	17	17	106	
	現代中国学部				131	14	8	7	6	2	9	46	
	国際コミュニケーション学部				1,311	40	41	44	62	40	82	309	
	文学部				79,098	8,508	7,452	8,250	12,199	1,208	6,258	43,875	
	地域政策学部				30,609	3,721	3,503	3,693	6,187	496	2,756	20,356	
	短期大学部				5,480	660	862	872	873	68	290	3,625	
	大学院生				1,392	148	136	147	124	55	125	735	
	専門職大学院				法科大学院(研究生含む)	0	0	0	0	0	0	0	0
					会計大学院(研究生含む)	6	0	0	0	0	0	1	1
その他(教職員、同窓生、研究生など)		16,420	1,607	1,592	1,572	1,468	833	1,398	8,470				
合計		135,987	14,756	13,660	14,642	21,058	2,745	11,017	77,878				

